

# 事業の見直しや再生の相談は商工会に！

「厳しい時こそ会社の方向性を考える」

昨今は新型コロナウイルスの影響など、経営を取り巻く環境は厳しさを増す一方です。経営環境が厳しくなると、小手先の対策に目がいきがちになり、事業基盤の見直しが進まず、生産性や収益性が低下し、さらなる業績低下という負の連鎖に陥ってしまいます。

商工会では、専門家と連携し、会員事業者へ寄り添った事業再生支援に取り組んでおります。

このような時期にこそ「どんな戦略で戦うのか」を商工会に相談してみたいかがでしょうか。

## 事例① 事業の見直し

会社は近年、売上減少・赤字の状況が続いていた。商工会職員と専門家での経営資源の見直しを行うなか、社長の技術力を生かした事業を開始することになった。専門家が単価アップなどによる利益率向上策をアドバイス。またそれに伴う行動プランの作成支援がなされた。不採算事業については改善提案が行われた。



## 事例② 事業再生への取組

会社は最近取引きが増加している状況。しかしながら、経営は厳しいままで、過去の銀行借入が負担となっている。経営者単独では難しい金融機関との交渉や経営計画書の作成を商工会職員と専門家サポート。

また、今後の事業の方向性についてもアドバイスが続いている。



## 経営セーフティ共済(中小企業倒産防止共済)

経営セーフティ共済は、取引先事業者が倒産し、売掛金の回収が困難になった場合に貸付を受けられる制度です(最高8,000万円)。貸付条件は無担保・無保証となります。

毎月の掛金は、税法上損金(法人)または必要経費(個人事業)になります。

「もしも」の時の資金調達手段の一つとして検討してみたいかがでしょうか。詳しくは商工会にお問い合わせ下さい。



## 商工会活用事例

# 「商工会とは連携を密に！」

## 株式会社湯ーとびあ

当社は、現代代表者の父である早川善敏が昭和21年に設立し、昭和54年には山梨県内で初めてのラドン温泉を開設しました。来年には創業75周年を迎えます。

長い業歴を見ると一見、順風満帆に見えますが、大手ホテルの進出や東日本大震災、今回のコロナウイルス感染症による影響など、幾度も難局を迎えております。難局を迎える都度、社員一丸となって様々な取り組みを行っておりますが、当社では商工会とも連携を密にして進めております。

### 1 やまなしグリーン・ゾーン認証取得

当社では、甲斐市内の事業者では一番目の認証を山梨県より頂くことができました。商工会からは早い段階から情報提供を頂きました。また、認証制度に係る支援金を活用して、フロントには最新のサーモカメラ(体温計)を設置するなどの設備改修をし、コロナ対策を実施することができました。



やまなしグリーン・ゾーン認証を取得

### 2 BCP(事業継続計画)策定

計画策定に当たっては自社単独での策定は難しいため、商工会の専門家派遣相談を活用し、計画書の策定に取り組みました。災害時の社員一人一人の役割分担など、細かい箇所まで丁寧に相談に乗って頂き「事業継続計画策定証明書」を受けることができました。



### 3 小規模事業者持続化補助金

トリップアドバイザーの活用など販路拡大策においては、こちらの補助金を活用しました。商工会と綿密な打ち合わせを行うなかで事業計画書の作成を進めることができました。

当社のみでは解決できないことも、商工会に相談することでアドバイスを受け、一つ一つ課題を乗り越えてきました。これからも商工会と連携をとっていきたくと考えております。